

8・8集会所 基調報告口（要）旨

「中見出し」はすべて当日のスローガンを引用。

※ 八・八パイプライン供用開始粉碎、二期阻止・空港廃港かちとるぞ。

8・8のパイプライン供用開始粉碎闘争にあたり、三里塚芝山連合空港反対同盟と国鉄千葉動力車労働組合の両主催団体を代表して集会の基調を提起します。今日、千葉港と現地成田空港で「待ちに待った」パイプライン供用開始への行事がセレモニー的に行われている。われわれの立場は貨車であれパイプラインであれ空港の機能の命脈を果たす燃料輸送そのものに反対する。住民の生活を守るためにも供用を阻止し、二期阻止！廃港にむけた闘いを強めよう。

※ 収用委員会に対して不法な土地収用法を弾劾し、農民の正義を明確にするぞ。
※ 政府権力のひきおこした刑事事件の責任を糾弾し、全被告への重罪判決弾劾、即時奪還、全裁判に勝利するぞ。



三里塚芝山連合空港反対同盟と動労千葉が主催した「8・8パイプライン供用開始粉碎、二期阻止・空港廃港総決起集会」は、炎天下2,413名の結集をもって大成功をかちとった。基調報告にたつ北原事務局長。その隣りは関川委員長。（於・千葉市みなと公園）

十八年間の闘いが、今実を結びつつある。いまだ滑走路一本のみだ。なぜできないのか。そこには正義というものの中から生まれた強固な人民の抵抗が生き続けているからだ。

土地収用法の攻撃も同様、無力だ。二期工事の予定地のド真中にある天神峰に、今日高とアドバルーンが上った。「ヘリによる牧草種散布を許さない」というスローガンを掲げた。空港公団と成田市は、われわれの抗議に対し、「草を抜き、被害は補償したい」と言ってきたが、それが彼らの卑劣な

常とう手段だ。用地内に介入するための口実だ。反対同盟は、これを見ぬき、敵の介入も補償も拒否し、「自分たちで草をとる。今度まいたら実力で阻止する」と回答し、アドバルーンで示した。

また、三里塚には、刑事・民事での多くの裁判がかけられ、判決がおりてきている。私にも七月「懲役二年」の不当判決がかけられた。三里塚農民は何の不正もやっていない。堂々と生きる権利を主張し守っているのだ。正義を主張し、裁判でも勝利する。

※ 農地死守の原則に反し、金もうけにつながる「一坪再共有化」絶対反対。
※ 政府・運輸省、公団の「話し合い」攻撃粉碎、空港絶対反対、一切の話し合い拒否。

一部で「一坪再共有化」を叫んでいる部分があるが、そもそも反対同盟は、「大地共有委員会」とか「一坪再共有化」などという方針は、一切この機関でも決定などしていない。農民の闘いは農地があつてはじめて主体性が生まれるのであつて、彼らのような「農地

を売りつつ反対する」という論理はペテンだ。また、政府・公団という「話し合い」とは、用地内農民を悪らつた手段でいじめぬき、追い出す、そして「それがいやなら話し合いに応じろ」という攻撃だ。一歩も許さず闘いぬく。

※ 軍事大国化・改憲攻撃粉碎、反戦闘争の高揚をかちとるぞ。
※ 核ミサイル戦艦ニュージャージー、原子力空母カールビンソンの横須賀、佐世保寄港を許すな。反戦・反核運動の先頭にたとう。

中曽根の軍事大国化・改憲攻撃が急ピッチで進んでいる。三八年前の広島・長崎、また多くの人民が天皇制軍隊によって殺されていった悲惨を忘れてはならない。

の道を一歩も二歩もふみ出している。われわれが三里塚を勝利させ、一切の住民闘争の最先端を担うことが、反戦闘争の高揚と勝利をもたらす唯一の道である。三里塚！動労千葉を結ぶ労働運動を大きく拡大していこう。

今、核ミサイル戦艦ニュージャージーや空母カールビンソンが日本近海をはい回している。日本は戦争へ

（以下、次号につづく）

臨調・行革粉碎！ 三里塚ジェント闘争勝利！

二期阻止・廃港へ！ 10.9大結集かちとろう

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！